



平成 24 年 5 月 11 日

各 位

会社名 東京製綱株式会社
代表者名 取締役社長 猪瀬迪夫
(コード番号 5981 東証第 1 部)
問合せ先 取締役総務部長 佐藤和規
(TEL. 03-6366-7777)

特別損失の計上及び平成 24 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）において、特別損失を計上するとともに、本年 2 月 10 日に公表した平成 24 年 3 月期の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、太陽光関連事業の環境激変に対応し、今般スチールコード事業の構造改革に着手いたしました。これに伴い、国内事業場の固定資産の減損損失、資産の処分損等 3,487 百万円を事業構造改革費用として平成 24 年 3 月期の特別損失に計上いたしました。また、人員合理化案に関しましては、本日別途「希望退職者の募集について」を公表しております。

2. 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 24 年 2 月 10 日発表)	百万円 75,000	百万円 500	百万円 100	百万円 △1,000	円 銭 △6.89
実績 (B)	76,370	751	383	△3,374	△23.24
増減額 (B-A)	1,370	251	283	△2,374	—
増減率 (%)	1.8	50.2	283.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	百万円 71,887	百万円 3,463	百万円 3,054	百万円 765	5.26

【修正の理由】

売上高につきましては主に鋼索鋼線部門での増加、営業利益・経常利益につきましては売上増やコスト削減等により前回予想を上回る見通しであります。

当期純利益につきましては、上記 1 の特別損失の計上により、大幅な赤字となる見通しであります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上